

施工方法

| | 設置場所 | 設置間隔 | 支持材の種類 | 適用除外 | 適用階の区分 |
|---|-----------------|--------------------------------------|----------------|------|--------|
| 耐 震 ク ラ ス A B 対 応 | 上層階 屋上 塔屋 | 配管の標準支持間隔の3倍以内。ただし、銅管の場合は4倍以内に1箇所設ける | すべてA種 | | 塔屋 |
| | 中間階 | | 50m以内は、A種の他はB種 | | |
| | 地階 1階 | | すべてB種 | | |

ご注意！

この図は画像データです。CAD データではありません。また施工図とは違い寸法とか縮尺は考慮していません。あくまでも施工要領の説明図です。図を編集（修正）したい場合は、Word のオートシェイプを利用するかまたは Windows に付属のペイントソフトでおこなうことができます。

上層階の定義

- ・ 2～6階建ての建築物では、最上階を上層とする。
- ・ 7～9階建ての建築物では、上層の2層を上層とする。
- ・ 10～12階建ての建築物では、上層の3層を上層とする。
- ・ 13階建て以上の建築物では、上層の4層を上層とする。

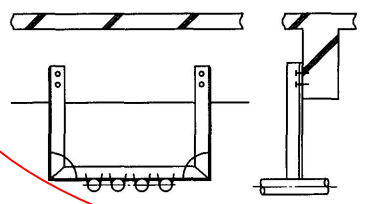
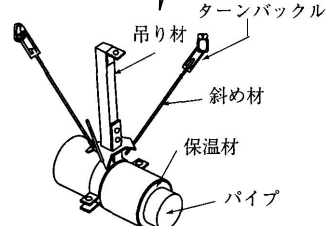
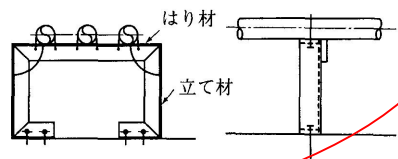
中間階の定義

- ・ 地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。

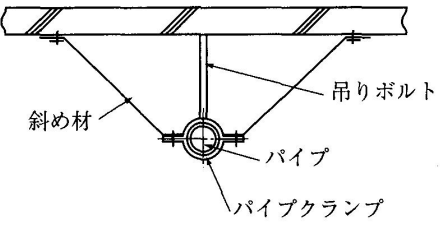
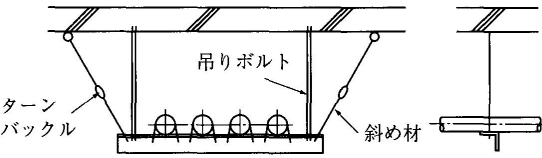
文字（文章）は自由に編集できます。

注）耐震クラスには、S、AおよびBがあり、耐震クラスSの場合は、支持材の種類をA種からSA種に変え、中間階のB種をA種に変え、（財）日本建築センター発行『建築設備耐震設計・施工』（1997年版）を参照。

SAおよびA種耐震支持方法の例

| 天井スラブ等より 吊り下げる方法 | 天井スラブ等より 吊り下げる方法 | 床スラブより 支持する方法 |
|--|---|---|
|  <p style="text-align: center;">はり（またはスラブ）に吊り下げる場合 （ラーメン架構）</p> |  <p style="text-align: center;">はり（またはスラブ）に吊り下げる場合</p> |  <p style="text-align: center;">ラーメン架構</p> |

B種耐震支持方法の例

| はりや天井スラブ等より 吊り下げる方法 (1) | はりや天井スラブ等より 吊り下げる方法 (2) |
|--|---|
|  <p>斜め材 吊りボルト パイプ パイプクランプ</p> |  <p>吊りボルト ターンバックル 斜め材</p> <p>1以上 ▽ 2 (斜め材取付け角度)</p> |